

市民が選ぶ 川ごみマップ大賞 決定！ 千歳川河川事務所「ゴミマップ」

全国川ごみネットワーク（座長：亀山久雄）は、市民による独自の選考会を開催し、国土交通省が作成・公開している全国 170 以上の河川ごみマップの中から、「川ごみマップ大賞」を決定しました。

河川ごみマップは、不法投棄やごみの散乱状況をまとめたもので、全国 109 の一級水系それぞれで作成・公開されています。これが、啓発資料となって地域住民に周知され、さらに活用されることで、川と海のごみの削減を目指します。川のごみを減らすことが、川から海へと流出する海洋プラスチックごみ削減につながります。



1. 受賞一覧

■大賞：千歳川河川事務所「ゴミマップ」

国土交通省 北海道開発局

札幌開発建設部 千歳川河川事務所

理由)デザイン性に優れ、マップに加えたイラストでは、市民向けの行動を呼びかけるなど、見る人に当事者性を感じさせる点が高く評価されました。

■最優秀賞：「十勝川ゴミマップ」

北海道開発局帯広開発建設部 帯広河川事務所

■優秀賞：「やめよう不法投棄、美しい阿賀野川をいつまでも」 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

「関川ゴミマップ」

北陸地方整備局 高田河川国道事務所

「遠賀川ごみマップ」

九州地方整備局 遠賀川河川事務所

「山国川・中津川ゴミマップ」

九州地方整備局 山国川河川事務所

※入賞は別紙参照

※ホームページでも紹介：https://kawagomi.jp/2020/07/gomi-map_taisyou/

2. 河川ごみの現状

全国川ごみネットワークが、全国に呼びかけて調査する「水辺のごみ見つけ！2019」では、昨年全国の水辺 468 カ所で合計 33,000 本以上のペットボトル、15,000 枚以上のレジ袋が確認されました。この結果、河川では 6m に 1 本のペットボトル、15m に 1 枚のレジ袋が散乱していることが分かりました。

最近では、川などの水辺でもマスクがこれまで以上の数散乱していることが確認され、私たちの生活から出たごみが川でもごみとなっていることがわかります。



水辺に散乱していたマスク

3. 市民目線による初めての選考

コロナ禍のステイホームの中、関係者らが全マップを確認しノミネートした上で、外部委員による本選考を行いました。ここでは、ごみマップを利用する市民側の利用者目線から、優れたマップが初めて選出されました。この結果を国土交通省の担当者に伝えるとともに、ホームページなどを通じて多くの方にご覧頂くことで、各河川のごみマップがごみ削減啓発にさらに役立つものとなることを期待します。

【本件に関するお問い合わせ】 全国川ごみネットワーク (担当：伊藤)

TEL：080-8167-8577 E-mail：kawa53@kawagomi.jp ホームページ：<http://www.kawagomi.jp/>

※本企画は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受け実施しました。

1. 川ごみマップ大賞の概要

○選定の目的

あまり活用されてこなかった「川ごみマップ」。その課題を踏まえながら、川や海ごみ問題の啓発ツールとして活用できる「川ごみマップ」の姿を関係者で探る。

○選考対象

国土交通省の各河川事務所ホームページで公開している全国の一級水系の河川ごみマップ（河川（湖沼含む）のごみの情報を含む地図）。

* 国土交通省のサイト：https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/gomimap/index.html

○選考基準

～啓発ツールとして期待される川ごみマップ～

- ①現状分析　：ごみの状況がわかりやすく伝わるか
- ②当事者性　：流域住民に当事者意識を感じてもらえるか
- ③デザイン性：見やすさ、わかりやすさ
- ④活用性　　：多様な場面で活用されるか

○選考委員

- ・石黒 隆 氏（全国清涼飲料連合会）
- ・今村和志 氏（NPO 法人 荒川クリーンエイド・フォーラム）
- ・小倉紀雄 氏（東京農工大学名誉教授）
- ・堺かなえ 氏（NPO 法人全国水環境交流会）
- ・谷田貝泰子 氏（NPO 法人 水・環境ネット東北）

2. （大賞）札幌開発建設部 千歳川河川事務所からのコメント

①制作での工夫点

- ・不法投棄箇所を定量的にプロットしてマップ化し、不法投棄の写真や過去5年間の不法投棄件数のグラフを載せることで、視覚的にわかりやすい表現にしている。
- ・不法投棄の多い箇所をわかりやすく色調を変えて強調して表現している。
- ・河川利用者による啓蒙活動や不法投棄、マナー違反を具体的に表現することで、それぞれの行為を認識しやすくしている。

②活用事例

- ・札幌開発建設部のホームページに掲載している。
- ・千歳川河川事務所、千歳および恵庭の道の駅に掲示物として配布している。

③川ごみ削減に向けて、流域住民へのメッセージ

年々、不法投棄件数が増加傾向にあるのが実情です。

不法投棄やゴミのポイ捨ては、河川生物への影響や景観の悪化につながるとともに、更なる不法投棄を助長します。川はみんなの財産です。気持ちよく利用できるよう、川をきれいにしましょう。ご協力のほどよろしくお願ひします。